



テント型の白いお家

くにちゃんブログ (ジャンル: エンカウンター)

時系列

2006年9月26日から2010年10月13日まで

橋本さんのお考えが書かれているものを抜き出しました。

主催者の方や開催地の紹介、主催の方の言葉、開催要項などは省いています。

橋本さんのお考えのかかれていない案内は案内自体省いています。

2010年11月 吉橋 編

## 目次

1 1月・非構成的エンカウンターグループ 8 DAYS@穂高養生園 2010/10/13 15:58.....	3
エンカウンター・レボリューション～「出遭いの循環」プロジェクト始動のお知らせ	
2010/07/12 21:30.....	3
非構成的エンカウンターグループ in 大阪のご案内 2010/07/06 15:10 .....	7
ワンデイ・エンカウンターグループ in 東京のご案内。2010/04/15 15:11 .....	8
(改訂版) 第3期ファシリテータートレーニングのお知らせ 2010/03/03 01:40.....	10
六甲山 de 非構成的エンカウンターグループのお知らせ 2009/11/30 15:45.....	12
1 1月・六甲山上エンカウンターグループのお知らせ 2009/11/01 17:11 .....	13
1 1月・六甲山エンカウンターグループのご案内 2009/10/16 03:12 .....	13
「穂高養生園で10日間の非構成的エンカウンターグループ」のお知らせ 2009/10/08 11:36	
.....	14
広島から『ふつうで非構成的な3日間』のご案内 2009/08/31 21:53 .....	15
8月・女神山でのエンカウンターグループのお知らせです。2009/07/17 12:30 .....	16
ワンデイ・エンカウンターグループ in 徳島市のご案内 2009/05/12 16:33 .....	17
11/4-13: 穂高養生園での10日間のエンカウンター! 2009/04/25 17:46.....	17
4/1-5: 女神山で非構成エンカウンターグループ 2009/03/17 01:58 .....	18
12/11-14: 非構成的エンカウンターグループ in 清里 2008/11/12 23:08 .....	18
11/26: エンカウンター&ミニカン in 徳島 2008/11/12 23:05 .....	19
4/26-29: エンカウンターグループ in 野尻 2008/04/08 12:48 .....	19
12/10~14: ベーシック・エンカウンターグループ 2007/11/14 16:50.....	20
エンカウンターまとめてお届け! 2007/08/22 21:40.....	20
10/1-5: 非構成エンカウンターグループ 2007/08/16 21:57.....	21
12/23-24: エンカウンター 対人援助職者のためのエンカウンター in 広島 2006/10/14	
07:42.....	21
10/30~11/3: 非構成的エンカウンター・グループ 2006/09/26 09:20 .....	22

ファシリテーターについての言及

p3 エンカウンター・レボリューション～「出遭いの循環」プロジェクト始動のお知らせ

p10 (改訂版) 第3期ファシリテータートレーニングのお知らせ

**11月・非構成的エンカウンターグループ8 DAYS@穂高養生園 2010/10/13 15:58**

皆様へ。

いよいよ、もはや恒例となった11月・穂高養生園での  
非構成的エンカウンター・グループの告知が始まりました。

<http://www.livingworld.net/hodaka1011/>

西村佳哲氏とのご縁から始まった1週間ベースの  
エンカウンターグループ。

僕にとっては、時間をたっぷりとして、  
ただ人と座るこのグループだけで十分魂が満たされます。

何も目的を持ち込まず、縁ある人々とそこにいる、  
その事実がもたらす幸せは何物にも換えがたいです。

よろしければ2010年の晩秋を、穂高で一緒にいたしましょう。

**エンカウンター・レポリビューション～「出遭いの循環」プロジェクト始動のお知らせ 2010/07/12  
21:30**

皆様へ。

シアター・ザ・フェンスが4度にわたってコミットさせていただいた  
築港キャンドルナイト、最終日の昨日は美しいキャンドルがCASO前の  
広場を埋め尽くし、感動的でした。

(本日の産経新聞1面に写真掲載 2010年6月22日)

僕にとっての一番の収穫は、築港地区に住み、あるいは働いている  
人たちとの出会いでした。

確認できたことは、物理的に近くにいる人々が、  
実は最も深いご縁で結ばれている人々であることです。

今日、娘とジョギングに行き、帰りに近くの小さな公園に  
立ち寄って来ましたが、

公園の四隅のベンチに思い思いの姿勢で、  
それぞれのオーラを漂わせて、座っているおじさんたちが、  
実は僕自身の最も深い心の底に座っておられるということ。

はしょって言えば、彼らは最も深い僕であるということ。

たとえばここ西区でも、キャンドルナイトのような空間を  
設定して、最も深いご縁に結ばれた「他者」たちと  
座ってみたいということ。

ということで、今度は僕が主体的にコミットする  
名づけてエンカウンター・レボリューション～  
「出遭いの循環」のご案内です。

以下、ちょっと長いご挨拶ですが、よろしければご覧くださいませ。

はしもとくにひこ

-----  
ご案内第1弾  
～エンカウンター・レボリューション～  
「出遭いの循環」プロジェクト始動のお知らせ  
-----

1960年代にアメリカで盛んになり全世界に広がった  
ヒューマン・ポテンシャル・ムーヴメント（人間性開発運動）の  
主役として脚光を浴びたエンカウンターグループ。

創始者のカール・ロジャースは、  
このような、ごく普通の市民が集まってできた10人前後の  
小さなグループ群による社会へのアプローチを  
「20世紀最大の社会的発明」と呼びました。

エンカウンタームーブメントは一般の人々の間に急速に浸透し、  
会社や学校などの組織でも実践され、  
日々を暮らしていく人々の雰囲気や、「人間中心（パーソンセンタード）」と  
呼ばれる暖かい絆のあるエネルギーに変えてきました。

僕はこの「社会的発明」という言葉がとても気に入っています。

社会とは世の中、世間のことであり、  
我々の普通の日常生活そのものを指しています。

社会的とは、「社会に密接な関係を持つさま、社会性があるさま」ですね。

エンカウンターグループが「革命的」と呼ばれたのは、  
このグループが特定の宗教的リーダーやセラピストなどの  
言動や理論に頼らないこと、  
「個人の人生における心理的問題は専門家が援助または治療したほうがよい」  
という人間観からも自由であることによります。

すなわち、我々の誰でもが、どこでも好きな場所で、  
直ちに開始することができるグループであるということです。

では、その非構成的エンカウンターグループのファシリテーター  
(グループを作り、聞き手として座る人)の「働き」とは何でしょうか？

セラピーモデルや教育モデルでのファシリテーターは、  
専門的知識やスキルを用いるために、  
参加者よりも上位の位置に立ちます。

非構成的エンカウンターグループでのファシリテーターは、  
知識やスキルを通して参加者を見たり、判断(診断)することから  
離れていますので、  
参加者にファシリテーターの信じる価値観を  
教えたり、セラピー(治療)をおこなったりすることはありません。

その代わりに、ファシリテーターは、  
日常のいろんな「問題」を持った自分自身のまま、  
ありのままの自分の姿を飾らないで、  
一人の人間として、人々の中に座ろうとする意志を  
持たねばなりません。

そのため、エンカウンターグループの参加者は、  
ファシリテーターの技術や知識ではなく、

「態度」や「雰囲気」によって  
最も影響を受けることとなります。

トレーニングを受けた非構成的エンカウンターグループの  
ファシリテーターは、  
参加者のどんな言葉にも、可能な限りの敬意を持って  
耳を傾けようとする態度を持っています。

ここで言う「敬意」の具体的な内容はなんでしょうか？

それは、グループに参加して、話をされた方が、

「この人（グループ）は、私の中に何か問題を見つけようとせずに、  
私を援助したり、悩みを解決しようとせずに、  
ただ人間同士として、ていねいに、正確に、聞いてくれる」  
と感ずることです。

僕自身は、すでに人生の三分の二ほどを生きてしまいました。

生きていられる残りの時間のことを時々考えます。

見回すと、あちこちに人を援助し、問題を解決しようとする教師や  
セラピストの姿が見えますが、  
もうその人たちのところへ行きたいとは思いません。

僕がそばに行きたいな、と思うのは、  
この人は僕の話にただ人間として敬意を持って耳を傾けてくれるな、  
と感ずることのできる人のそばです。

僕の話すことを、まずちゃんとていねいに、正確に聞いてくれて、  
僕の生き方や現在のありのままの姿を変えようとしない人。

問題を見つけてそれとなくアドバイスすることで、  
いつの間にか上位に立とうとしない人。

自分を巧妙に飾ったり、ごまかしたりせず、  
いつでも僕に対して本当の気持ちを明かしてくれると感ずられる人。

もしそんな人がグループを開いていたなら、  
僕は立ち寄って、一緒に座りたいと思います。

ある日、気が向いて集まった人々が、円座になって、ゆっくりと、  
それぞれのペースで、誠実に語り合うこと、そして耳を傾けあうこと。

僕はこのような集いを「出遭いのグループ」(エンカウンターグループ)  
と呼んでいます。

僕の住む町に、このようなグループがいつも行われている場所が  
あればいいなと思います。

エンカウンターレボリューション(出遭いの循環)はそんなビジョンを  
実現させるためのプロジェクトです。

このプロジェクトは非構成的エンカウンターグループを自分でも  
行ってみたい方に実践の場を提供することも目的としています。

どうぞ、大いに利用してください。

そして非構成的エンカウンターグループのファシリテーターとしての  
経験(人間の内面世界への視界)を深めてください。

## **非構成的エンカウンターグループ in 大阪のご案内 2010/07/06 15:10**

皆様へ。

大阪市内での通いのエンカウンターグループです。

じっくり座って耳を傾けあいましょう。

先日のファシリテータークラスで、  
ある方が、「みんなのからだの前面から触覚のような手が  
伸びて影響を与え合っている」といった意味の感想を述べておられました。

僕はそれは事実であると思います。

たとえばからだを用いるダンサーの方も、音を用いるミュージシャンの方も一度、このようなグループの磁場の中で、「動かないこと」や「沈黙」を用いて座ってみることをお勧めしたいと思います。

おそらく 「動くこと」 や 「音を出すこと」 という現象が、さらに明らかになるのではないかと思います。

僕にとっては 「何もしないこと」 は非常に面白いことです。

よろしければご一緒いたしましょう。

## **ワンデイ・エンカウンターグループ in 東京のご案内。2010/04/15 15:11**

皆様。

フェンスワークス・オープンパフォーマンスの余韻がまだ続いている感じですが、今日の大阪は、その熱をゆっくり冷ましてくれるような、暖かい春雨です。

自分の歳を考えると当たり前なのかも知れませんが、いい仲間が増えました。そしてこれから、実はいい仲間であったことを思い出す予定の人々が地平線まで列を作ってお互いに順番待ちをしているような感じです。

「現在のこの瞬間」という舞台に上がって出会うのは一度に一人ずつ。一期一会というスポットライトを浴びてのデュエットです。

若い頃から持続可能なコミュニティに関心がありましたが（教えない授業や瞑想コミュニティの試み等）、今、「持続」とは、人々の間に流れるこの「気持ち」のことなのだ、と思います。

この「気持ち」は僕固有のものではなく、たとえば一昨日のフェンスワークスに来てくださった人々の「間」を「流れて」いるものなので、我々がある条件を整えたときに感じられ、アクセスできるようになる「空間の性質」と表現していいかと思います。

その性質は、今雨音が聞こえている暖かい春雨のように、まるで外側の気象条件みたいに我々のグループを包みます。

僕にとっては、このような空間の性質に触れることを「慈しまれている感じ」と表現するのがピッタリです。

若いダンサーが懸命にその身体の隅々まで意識を込めて、ステージの上で踊り輝く姿を見るとき、我知らず流れる涙はこの「慈しみ」の質感に触れています。

「人間関係」とは我々の内面に生滅する「気象条件」であること、そして「懸命さ」という畏敬の気持ちをともなった踊りや唄はその気象条件にダイレクトな影響を与えること。

フェンスワークスはこのような、人間やコミュニティの「気象」に働きかけていく装置の一つとして機能していくでしょう。

さらに僕には、「非構成的エンカウンターグループ」という持ち運び、携帯自由な装置があります（笑）。

このグループ（装置）は、新しい機能が自慢の「最新メソッド」ではなく、ただ普通の人同士が自分自身の耳で互いに話を「聞き合う」というごく「当たり前」の営みを行うだけのものです。

しかし、賢いリーダーの知恵ある言葉よりも、普通の人々の発する「雑音」が多いこのアナログ装置を使う意味は、僕にとってはただ事ではありません。

我々の家族やコミュニティを織り上げ、さらには地球全体を覆う人類の人間関係という内的気象は、無数の普通の人々が発する「雑音」によって織り合わされているからです。

一見、無意味に見える「人間の発する雑音」とは、本当はいったい何なのでしょう？

参加者やファシリテーターが、いわば雑音の多いただの普通の人であることに安らげる空間にいと、今まで、気にいらなかった自分の姿を変えてまで欲しかった慈しみは、たとえば外の雨音を通じてやってきます。

この暖かい春雨の雨音に、力んで生きて来た我々の過剰なエネルギーが帰って行って、慈雨となって再び訪ねてくれるのだ、と表現してみたいと思います。

このベクトルの変化が「出会い」から「出遭い」、「doing」から「happening」、「コントロール」から「ギフト」への空間体験の変質の要点であると思います。

今思えば、この視点（景色・世界）がそこにあったことが、若い頃パーソンセンタードアプローチに巡り合って深く動かされた理由だったのです。

あえて僕の言葉で表現すれば、我々が自分を変えるのではなく、我々が存在している場空間（世界）が自ら変容して、我々をそのままの姿で迎え取る、といったニュアンスになります。

一昨日のフェンスワークスの人々の間を流れていた慈しみの感覚は、やかんのお湯が沸騰する前に小さな泡が現れるように、このような空間世界が到来するときに生じる前兆現象の一つであると思います。

まず、カウンセリングやエンカウンターグループやプレイバックシアターやダンス、演劇、音楽ライブといった外的・内的な舞台空間が「丁寧に」、「普通に」、「自然に」準備されること。

すると、おのずと生じてくる「体験ベクトルの変質をともなう場（劇場）空間のエネルギー」の働きが参加者を乗せて、個々の意識のユニークな変容（人生の本質）という螺旋回廊を運んでいく営みが観察されます。

僕にとってはこれが、一般に人間の成長や進化という言葉で示されている我々の大きな旅の重要な一部なのです。

### **（改訂版）第3期ファシリテータートレーニングのお知らせ 2010/03/03 01:40**

皆様へ。

4月24日（土）より、非構成的エンカウンターグループのファシリテーション（グループ進行と運営）ができるようになることを目指したトレーニングコースを行います。

1年ぶり、第3期のクラスということになります。

僕にとってはプレイバックシアターやダンスワークショップの場作りも同じ視界の元に行っていますので、この機会に自分の考え方をシェアさせていただきたいと思います。

非構成的エンカウンターグループは、1960年代より始まったヒューマン・ポテンシャル・ムーブメント（人間性回復運動）のさなかにパーソン・センタード・アプローチを携えて登場した心理学者カール・ロジャーズに端を発する対話グループです。

僕自身はこのアプローチに出会ってもう30年になり、自分の味わいがかなり色濃く反映されることになると思いますので、今回のクラスは、「橋本に見えている非構成的ファシリテーション」のトレーニングということになります。

僕の視点を述べます。

1. 非構成的エンカウンターグループは、参加した人の「問題」を治療することを目的としていません。  
また、参加者の「問題点」を発見しようとするものでもありません。

2. 非構成的エンカウンターグループは、「真実を求める」グループではありません。

時に、自分自身や人間一般の「問題」が気になっている人々が、変化を求めるあまり「このグループ（エンカウンターを含む）では真実を大切にしている」と強調することがありますが、僕自身はそのような「真実」を確認することができません。

3. 人類の平和や自己実現やよい仕事に就くことなどを目指して行うグループではありません。

4. 僕にとって非構成的エンカウンターグループの意味と目的は、「出遭うこと」その一点にあります。  
それが最初で最後であると思います。

5. 目の前の人（グループ参加者）と出遭うためには、明確に見て、聴くことができる「視力」が必要です。

ファシリテーターがそのような視力を持ってグループの「場」を設定するとき、そこに座って語る普通の人々がすでに発している威厳や尊厳を感知できる場・空間への移行が生じます。

パーソン・センタードとはそのような目の前の人々の尊厳をはっきりと確認する営みのことです。

6. 今、身近な友人達（母親達や、会社員や、大学を出たばかりの若者や、仕事をやめて新しい生き方を探す人達）が自らの住む街角で、声の届いた人々と一緒にそっと座って場を開いています。

7. これが僕の周りで起こっているエンカウンター・ムーブメントです。

僕のもう一つの仕事であるプレイバックシアターやミニカウンセリングと同じく、街角にゲリラ的に設定された「場＝舞台」は、我々の思い込みで曇った感覚や見慣れた景色の中の「裂け目」として機能します。

8. 空間の裂け目（ゲート、ポータル）という空間認識は、ミニカウンセリングのクラスで多くの作品に触れるうちに生じてきました。

二人の人間がともに座り、聞き手が語り手の存在に向かって耳を傾ける時、二人の空間（磁場）は舞台構造を形作ります。

9. この裂け目＝ゲート＝舞台空間に入った人は、この社会が見失って久しい人間の尊厳と、人々がこの瞬間にそのまま在ることの威厳を垣間見ることができます。

10. この働きが顕れるために、エンカウンターグループやプレイバックシアター、あるいは能や舞踏のような実存的なダンス芸術には様式（時空間の設定の仕方）が必要です。

この様式によって他の場所でも同じ質の作用を再現することができます。

僕はこの様式をリチュアル（儀式的営み）と呼び、そこから生まれる我々人間への「作用」を舞台芸術と呼んでいます。

11. 我々が自ら放つ磁場を意識的に構造化して「建築」した舞台空間を任意の場所に置くことで、今住んでいるこの町や近隣のコミュニティの精神的な雰囲気を変容していくことを、ソーシャル・ポテンシャル・ムーブメント（社会の創造力を活性化する運動）と呼びたいと思います。

#### **六甲山 de 非構成的エンカウンターグループのお知らせ 2009/11/30 15:45**

皆様へ。

現在僕は穂高養生園でのエンカウンターグループの最中です。

秋深まる穂高の山の美しさと、真剣にたたずむ参加者の輪の輝きは  
コントラストとなって心に刻まれています。

温泉とお猿さんの絵に描いたような背景も素敵です^^

いま、改めて以下のカンタービレ藤本さんからのご案内に掲げられたロジャーズの言葉を読むと、味わいもまた格別です。

今月28日より六甲山上で2日間のエンカウンターグループをおこないます。

お気持ちのある方はぜひご参加くださいませ。

#### **■橋本さんからのメッセージ**

非構成的エンカウンターグループは、

僕が一生を通じて関わっている一つの「場作りの試み」です。

人間に起こる変化は、場所の質の変化と密接な関係があります。

「人間」という言葉が人の間、  
すなわち空間を示していることも暗示的ですね。

僕は、我々が変容していくための人の間、  
人の場を準備していきたいと思います。

### **11月・六甲山上エンカウンターグループのお知らせ 2009/11/01 17:11**

皆様。

11月に入りました。今月28、29日には、神戸の六甲山上でエンカウンターグループが催されます。

非構成的エンカウンターグループは、僕が一生を通じて関わっている一つの「場作りの試み」です。

人間に起こる変化は、場所の質の変化と密接な関係があります。

「人間」という言葉が人の間、すなわち空間を示していることも暗示的ですね。

僕は、我々が変容していくための人の間、人の場を準備していきたいと思います。

このような言葉を口にするだけで、お腹の底から波のような波動が突き上げます。

順番がおかしいですが、来てくださった方々に、御礼を申し上げたいと思います。

ご縁ある方々の笑顔が先に見えるのはちょっと不思議ですね。

### **11月・六甲山エンカウンターグループのご案内 2009/10/16 03:12**

皆様。

台風一過、秋の日差しが気持ちいいですね。

地球に起こる天変地異は確かに事実なのに、  
今日の前にあるこの日差しや、大都会の小さな花壇の花々、その上を舞う蝶々は、我々の内面に直接映り込んでくる「面影」を持っています。

するとお腹の底から衝動がこみ上げてきます。  
うれしさ、でしょうか。

この衝動は皆様のお腹からも同時にこみ上げているように見えます。  
外に見つめて、恋焦がれていた「よき人」は、気が付けば、内側の空間から我々を見つめてくれていたのです。

今日は敬愛する仲間達と京都へコンテンポラリーダンスの舞台を観にいきました。  
舞台に立つ若者達を見つめていると、彼らの面影が映りこんできます。

懐かしく、まぶしいその面影は境界を越えて溶け込んできます。  
その小さな劇場は贅沢な出会いの場所となりました。

舞台は、人類の全歴史を通じて効果的に機能し続けてきた「見つめる」働きが起こるための優れた装置です。

エンカウンターグループは、人が結界となってその働きが開始される「舞台」の一つであると思います。

### **「穂高養生園で10日間の非構成的エンカウンターグループ」のお知らせ 2009/10/08 11:36**

皆様。

すでに開催が決定している11月・穂高養生園での非構成的エンカウンターグループにつきまして、若干名の追加募集を行います。

このような長い期間にわたるエンカウンターグループは、日本ではなかなか実現が難しいところです。

お気持ちのある方はこの機会にご一緒いたしましょう。

現在の僕にとって、エンカウンターグループという名付けによって作られる場は、一つの舞台に他なりません。

時間と空間を切り取り、結界してできた目には見えぬ舞台に、参加者それぞれの臨在を通じて顕れてくる

物語があります。

そこに座る我々に、聴くという術（すべ）があるとき、結界された場は真剣さと神聖さを増し、その世界とはっきり区別された密度の高い磁場となっていきます。

その磁場の中では、普通の人間的な対話や交感が、共時的に現れる事物の絶妙な演出による「芸術」となっていきます。

共時性とは、言葉で明確にやりとりできる世界と、言の葉ではついに届かず、暗示や象徴によってのみ参入できる無形無色のリアリティとの交流のことです。

僕にとってエンカウンターグループは、我々が誰か他の「先生」や理論やスクールの手を借りずとも、すでに自分自身の光を放って存在していることを、繰り返し確認できるお祝いの舞台だといえると思います。

**広島から『ふつうで非構成な3日間』のご案内 2009/08/31 21:53**

皆様へ。

深まる秋の11月、広島カンタービレ主催のエンカウンターグループのご案内です。

以下は代表の藤本明子氏のお誘いの言葉です。

美しいセンテンスですね^^

「火を囲む七人」のように集まって、  
ふつうに語り、ふつうに表現し、  
ふつうに存在できたらいいなと思います。」

普通に生きること、ふつうに在ることが、

ようやく僕の視界にも入ってきました。

長い間、上ばかり見上げていたので見えていなかったのです。

首は凝って柔軟に回らなくなり、他人の光ばかり眺めたので目はぼんやりしてしまいました。

普通に前を見れば、そこにはセラピーもなく、成長とか進化もなく、ポプラの木々の葉が風に揺れ、すずめが鳴いて飛び、学校帰りの中学生が笑いさざめきながら歩いていきます。ふつうの光の中で。。

広島の地で、カンタービレが用意してくださる場に結ばれる皆様とのご縁を心より楽しみにしています。

**8月・女神山でのエンカウンターグループのお知らせです。2009/07/17 12:30**

皆様へ。

月曜日に礼文島から帰ってきたら大阪はまるで東南アジアみたいに熱かったです。  
湿度が高い分、カンボジアよりも厳しい感じでした。

対して礼文は、風が吹くと持ってる服を全部着てもまだ寒いくらいで、同じ日本にいるとは思えませんでした。

けれど、色とりどりに美しい花の島でのプレイバックは素晴らしかったです。  
全員が真剣に対処しなければならない自然の中でのハプニングもあり、忘れがたい経験となりました。  
帰り際、半数が島に残り、フェリーに乗り込んだメンバーと動く彫刻を交換して別れを惜しんだのがとても愉快でした。

来年も北海道の秘境でプレイバックシアターを試みる予定です。  
お楽しみに。

そうそう、偶然に小泉純一郎元首相の初めての礼文島訪問と重なり、ナマの小泉氏と握手する機会がありました。とても柔らかい手をされていてちょっとびっくりでした。

さて、8月はエンカウンターグループです。  
ファシリテーターは僕と流玄です。

場所は恒例となった女神山。。

僕にとってエンカウンターグループは、毎回、行ったことのない場所への旅みたいです。  
登山とも似ているかもしれませんね。

いくら長いキャリアを持っていたとしても、そこにある「山」に対して「先生」にはなれません。

ご縁ある方々と、一緒に登る4泊5日です。

よろしく願いいたします。

**ワンデイ・エンカウンターグループ in 徳島市のご案内 2009/05/12 16:33**

橋本さんから皆さまへ

いつもお母さん達と一緒に食べる  
お昼ごはんがとってもたのしみです。  
そして、エンカウンターグループや  
瞑想のグループを通して、皆さんと  
過ごす キラキラした時間を  
心待ちにしています。では、当日お目にかかりましょう。

**11/4-13：穂高養生園での 10 日間のエンカウンター！ 2009/04/25 17:46**

皆様。

いよいよゴールデンウィークですね。いかがお過ごしでしょうか。

さて、ちょっと気が早いかもしれませんが、是非実現したいワークショップなのでまず皆様にご周知いただきたく以下のご案内を差し上げます。

僕にとって非構成的縁カウンター、、、この誤字いけてますね！^^

非構成的エンカウンターグループは、いつの間にかライフワークの一つとなりましたが、共にその捉えがたい場の面白さを分かち合う西村佳哲氏の発案で、10 日間にわたるエンカウンターグループを行うことになりました。

**10 日間！！**

こんなスケールは外国でしか実現しないものと思っていたので、最初に聞いたときはびっくりしましたが、でもほんとはやってみたかったことでした。

場所は僕の知る限り日本の最高のリトリート施設のひとつ、穂高養生園。

皆様に自信を持ってお勧めできるプランだと思います。

部屋の周りに猿や鳥達の気配を感じながらじっくりと進行するエンカウンターグループ。

よろしければ是非、  
実りの秋の穂高で一緒にいたしましょう。

#### **4/1-5 : 女神山で非構成エンカウンターグループ 2009/03/17 01:58**

皆様へ。

今度は、「非構成的エンカウンターグループ」です。

東京のワークショップランド主宰、流玄（龍玄改め）をはじめとする何人かのキーパーソンとの出会いがあって、エンカウンターグループはくめども尽きない魅力的な体験の泉となって、今の僕を潤し続けています。

目撃できる景色が美しいです。人が素晴らしいです。

別に人として成長してなくても、気づきなどことさら求めなくても、ただやってきてそこに座っているその人がいいです。

緊張したり、笑ったり怒ったり、あるいは泣いたり黙ったりしながらそこにいる人。

それはそのまま自分自身の姿でもあります。

以前、グループって家族みたいだと思ったことがありますが、ついさっきまで他人だった人って、なんて懐かしく、愛らしいんでしょうか。

理論や新しいメソッドなどは特に必要ないです。

耳が一つあれば十分だと思います。

春の息吹漂う女神山で、一緒にできるご縁を楽しみにお待ちしております。

#### **12/11-14 : 非構成的エンカウンターグループ in 清里 2008/11/12 23:08**

みなさまへ。

寒くなってきましたね。お元気でしょうか。

今年最後の清里エンカウンターグループのお知らせです。

来年はもう2009年ですね。

世界はさらなる激動の年となるのでしょうか。

そんな年の瀬に、初めて会う人々と円座になってじっくり向かい合うことにどんな意味があるのでしょうか。

僕にとっては意味があります。

今、目の前に座っている人が、僕にとってのこの世界の代表者だからですね。

人間との関係を通じて我々は世界に触れるのかもしれない

#### **11/26 : エンカウンター & ミニカン in 徳島 2008/11/12 23:05**

皆様へ。

11月26日水曜日、徳島市でのエンカウンターグループのご案内です。

橋本さんから皆さまへ

「徳島のふれみばっくしあた〜ずのお母さんたちとの強い絆（^^）によってミニカウンセリングのクラスとエンカウンターグループを開催することになりました。

毎回、徳島で集まった方たちが、子供やパートナー、親との関係性を鏡として自分自身のあり方を見つめていく真剣さに敬意を感じています。手作りのお弁当持参で始まる 笑いと涙の学び舎、“阿波の人間関係研修会”に、どうぞ普段着の心のままでご参集くださいませ。」

#### **4/26-29 : エンカウンターグループ in 野尻 2008/04/08 12:48**

皆様へ。

東京でのミニカウンセリングWSがご縁となり、魅力的なロケーションでのエンカウンターグループが実現しました。

春の野尻湖はどんなたたずまいを見せてくれるのでしょうか。

主催のあぜがみさんのアイデアで、WSの内容は柔軟に設定されています。

プレイバックシアターや瞑想なども視野に入っているようです。

非構成的なグループビルディングでは、参加される皆さんの心の居場所によって、内容や雰囲気を整えられていきます。

皆さんのような心の居場所を生きておられる方は他にはいません。  
だからこのグループも、皆さんの見つめている心象を反映した  
唯一無二のエネルギーフィールドとなります。

そのような場にご一緒させていただけることを、とても光栄に思っています。

では春の野尻湖でお目にかかりましょう（＾＾）。

#### **12/10～14：ベーシック・エンカウンターグループ 2007/11/14 16:50**

講師■ 橋本久仁彦

※メッセージ

エンカウンターグループは、  
円になり座るだけでとても簡単に始められるグループワークですが  
とても不思議で思いがけない光景を見せてくれます。

私達が安心してゆったり深く座ると心の中に、  
いつもは忙しくてゆっくり出会えなかった気持ち  
や思いがやってきます。もし丁寧に、  
その気持ちや思いと一緒に座るならば、  
心の中で「対話」が起ります。

お一人お一人のこのような「対話」は、  
ご本人のみならず見ている我々にとっても  
美しく意味深い体験となります。

ご一緒できるご縁を楽しみにしています。

#### **エンカウンターまとめてお届け！ 2007/08/22 21:40**

皆様。

徳島でのベーシック・エンカウンターグループのお誘いです。

当日はオリオン座流星群が見ごろとか……。オリオン座は天に、そして我々は徳島県大神子（おおみこ）海岸の波打ち際にある会場にて「座」を開きましょう。

皆さんはおそらく星々の代理人となって語ってくださるのでしょうか（^^）！

#### **10/1-5：非構成エンカウンターグループ 2007/08/16 21:57**

皆様へ。

各地で最高気温続出の猛暑の中いかがお過ごしでしょうか。

涼しくなった10月に以下のグループを行います。

主催してくださる西村氏は気鋭のデザイナーで、素敵な作品をたくさん生み出しています。氏によるエンカウンターグループの説明は、アーティストとしての視点を表現した魅力的なものだと思います。

教育・啓発・治療といった従来のとらえ方ではなくエンカウンターグループを参加者の共同によるひとつの「作品」として見ることは、僕にとって大変魅力的なことです。

ご縁ある方のご参集をお待ちしています。

#### **12/23-24：エンカウンター 対人援助職者のためのエンカウンター in 広島 2006/10/14 07:42**

##### **★橋本久仁彦さんからのメッセージ**

エンカウンター・グループの始め方はとても簡単です。

みんなで輪になって座るだけ。

輪になって座ってみようというお気持ちがある方なら、

どなたでも参加できます。

そしてみんなが座った瞬間から、

グループ・プロセスが始まります。

それは、皆さんの思いや感情や存在感などのエネルギーが、

皆さんを通じて作用し始めるということです。

すると輪の内側の空気や部屋の雰囲気を変化していきます。

皆さんがまとっている雰囲気やエネルギーも変化していきます。

まるで我々一人一人が、微細な目に見えぬレベルで、

ひとつの新しい世界を紡ぎだしているようにも見えます。  
広島の地で、  
ご縁のある皆さんとともに輪になって座れることを、  
心から楽しみにしています。

**10/30～11/3：非構成的エンカウンター・グループ 2006/09/26 09:20**

親愛なる皆様へ。

先日、拙宅を訪ねてくださった西村佳哲氏とお話した際に、彼が  
「あらゆるワークショップの核にあたるものが、非構成的な  
エンカウンター・グループの中にあるんじゃないか」  
と熱く語るのを聞いてとてもうれしく思いました。

僕の現在の姿に背景があるとすれば、それは  
非構成的・実存的なエンカウンター・グループの経験だからです。  
そして実は現在も、たとえそれがどんなグループであっても、  
僕のファシリテーションは  
非構成的なグループでの在り方の  
バリエーションでしかありません。

互いに出会うことになっている  
定められた人数の方々と御一緒しつつ、  
実存の深みからの促しに耳を傾けてみたいと思います。